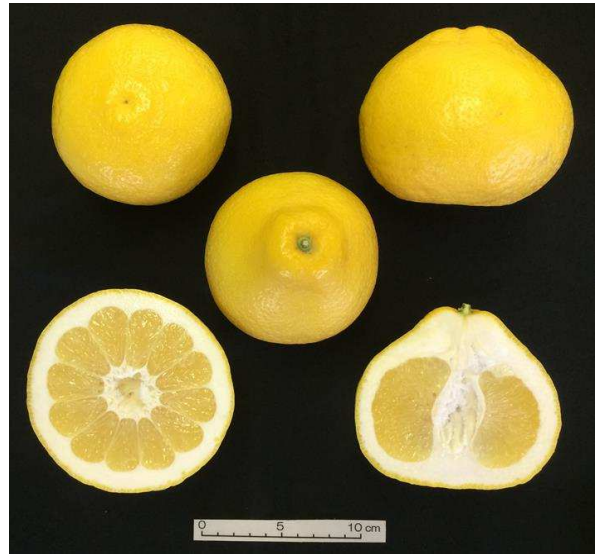


みずき 晩生カンキツ新品種「瑞季」



由来

- 「瑞季」は、種子親を「水晶文旦」とし、花粉親を「サザンイエロー」（「谷川文旦」×「無核紀州」）として育成した交雑品種です。
- 広島県と京都大学が共同で育成し、平成30年3月7日に品種登録出願を行い、令和元年11月20日に品種登録（第27604号）となりました。
- 品種名は、果汁が多く、瑞々しい新緑の季節が成熟期であることに由来します。

特性

- 爽やかなブンタンの風味を有し甘い芳香があります。
- 果実は洋梨形～短卵形で、果皮は鮮やかな黄色です。
- 果実重は400～500gで「河内晩柑」より大きく、果肉歩合は同程度です。
- 育成地での成熟期は4月中旬で、糖酸比が高く食味は良好です。
- 完全種子が極めて少なく、果汁が多いので、スマイルカットあるいは赤道部でカットしてスプーンですくって食べるのに適しています。
- カンキツかいよう病の発生は少なく、着果性は良好です。
- 苗木の販売は、令和3年3月から各地の種苗業者で開始されています。



「瑞季」の果実特性

品種名	果実重 (g)	果皮厚 (mm)	果肉歩合 ^z (%)	完全 種子数	糖度 (°Brix)	酸度 (%)	糖酸比 ^y
瑞季	503.9	10.1	58.6	2.0	12.4	1.11	11.2
河内晩柑	328.0	7.8	56.7	66.2	10.7	1.34	8.0

栽培地点は広島総研農技C果樹研究部（東広島市安芸津町）で2品種を同一園地で栽培
2019年3月7日に収穫して、4穴（直径6mm）のLDPEで個装して常温貯蔵を行い、同年4月15日に分析
^z（果実重-果皮重）÷果実重 ^y糖度/酸度

* 本研究の一部は生研支援センターのイノベーション創出強化研究推進事業（JPJ007097）にて実施しました。
* 問合せ先：広島県立総合技術研究所農業技術センター技術支援部（TEL.082-429-0522）